

教科目名 中国語 (Chinese)

学科名・学年 : 全学科 5年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 朱 穎

<b>授業の概要</b>		
こちらが編集した教材を使って中国語のローマ字表記による基礎練習を行い、発音の特徴を理解させるように例文を取り上げて説明する。テキストに基づいて会話を練習しながら、基本的な文法を修得させる。		
<b>到達目標</b> <span style="float: right;"><b>大分高専目標 (C1), JABEE 目標 (f)</b></span>		
中国は世界総人口の4分の1に相当し、地球で中国語を使用する人の数は4人に1人の割合となる。しかし、現在の日本人で中国語をマスターした人はほんの僅かではない。中国語学習の目標は、中国で使用される“標準語”の把握と日常会話を学ぶことにある。中国語の講義をしながら中国の文化事情などを紹介し、受講生の中国に対する関心と理解を深めさせる。		
回	授 業 項 目	内 容
1	第1区分 発音 中国語について	第1区分 中国は、実は方言の多い国である。一つの国には全国共通の標準語が必要である。それについて説明する。
2	子音、音の区別(有気音と無気音)	16個の子音、音の区別などを説明する。中国語のローマ字による基礎練習を行なう。中国語の特徴を理解させる。
3	単母音、復母音、鼻母音	6個の単母音、13個の復母音、16個の鼻母音の三つのタイプを分けて、発音の仕方を解説しながら発音の練習を行なう。
4	声調、声調記号のつけ方、声調変化	四声、軽声の発音の仕方と声調記号のつけかた、声調変化について説明する。基本になる数字の反復練習を行なう。
5	第2区分 発音と四声、自己紹介 練習問題	第2区分 授業内容についてまとめて復習する。例挙して、自己紹介、挨拶の練習を行なう。授業内容について練習問題を出す。
6,7	第3区分 本文、文法要点 練習問題	第3区分 会話内容と文法(名詞述語文1)、「不」の声調変化などを例挙して説明する。会話の練習を行なう。練習問題を出す。
8,9	本文、文法要点 練習問題	会話内容と文法(名詞述語文2)、副詞「都」親族の言い方、「人」を指す丁寧な言い方などを例挙して説明する。会話の練習を行なう。練習問題を出す。
10,11	本文、文法要点 練習問題	会話内容と文法(形容詞述語文)、形容詞の用法を肯定形、否定形、疑問形の中で活用し習得する。主な形容詞を覚えさせる。会話の練習を行なう。練習問題を出す。
12,13	本文、文法要点 練習問題	会話内容と文法(疑問詞「どんな、なんの」助詞「の」に当たる中国語の表現の使い方などを例挙して説明する)。会話の練習を行なう。練習問題を出す。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	分からなかった部分を解説し、理解させる。
履修上の注意	三分の二以上出席しなければ受験資格を喪失するので、注意すること。	
教科書	岩佐昌章 梁愛蘭著、「よくわかる中国語」、光生館出版社。	
参考図書	三野昭一著、中国語文法の基礎、三修出版社。	
関連科目		
評価方法	定期試験 100% (出席状況、授業態度、課題練習により評価点から20%を上限として減点する。)	